



東図書館を守ろう

～子供たちの未来のために～

発起人 自己紹介

森本 たかし (51歳)

- ・東舞鶴市民 (志楽)
- ・YouTuber やばいぜ舞鶴
- ・市長選挙出馬
- ・舞鶴西地区の環境を考える会 代表
- ・日本防災士会京都府支部 副支部長
- ・株式会社DIYSTYLE 代表取締役



目的：東図書館を存続させる

計画に反対する主な理由

- 東舞鶴市民が損をする
- 8億円も増加 贅沢すぎる総予算額 38億円
- 東西図書館は平成生まれ まだまだ使えるのもったいない
- 計画には市民の意見を取り入れていない
- 杜撰すぎる計画

東舞鶴市民が損をする

- 分館は1/5～1/10に縮小 まなびあむ又は商工観光センターに移転
- 子供たちの学習スペースが無くなる
- 東舞鶴市民は車で通うことになる（電車210円 バス300円 片道）
- 図書館が無くなっても税負担は一緒
- ○○を無くすための布石

東西図書館は平成生まれ まだまだ使えるのでもったいない

- 安全上問題なし 1981年6月1日から施行された「新耐震基準」をクリア
- 亀岡市では昭和55年（1980年）建築の
R C 3階建 延面積 1,822.89㎡を239,690,000円でリニューアル



計画には市民の意見を取り入れていない

令和3年度 第5回舞鶴市図書館協議会 出席者名簿

所属	氏名	役職
舞鶴市図書館協議会	池内 紀代子	
	大田 恵子	
	川嶋 公貴	
	櫻井 雅子	
	常世田 良	
	中川 幾郎	
舞鶴市市民文化環境部 文化スポーツ室 図書館課	西村 説子	
	藤崎 浩志	市民文化環境部長
	福本 一夫	文化スポーツ室長
	平野 広道	図書館課長
	竹之内 英子	東図書館長兼児童博物館長
	西鉢 朋子	西図書館長
株式会社 寺田大塚小林計画同人	河田 美奈子	東図書館主任
	寺田 芳朗	代表取締役
	小林 春奈	取締役

令和3年度 第5回舞鶴市図書館協議会 記録(抄録)
 日時: 令和4年3月17日(木)
 午後1時30分~4時10分
 会場: 舞鶴市立東図書館研修室

<議事>

- (1) 開会
- (2) 図書館基本計画策定準備部会 議事
 - 前回土産資料 説明
 - 準備部会議題 前回指摘事項の追加調査・訪問ヒアリング追加報告
 - 準備部会議題⑦ 市民の声を、前回アンケート調査から再度確かめる
 - 準備部会議題⑧ 舞鶴市図書館の課題から、めざすものへの道筋
 - 準備部会議題⑨ 図書館の課題解決型サービスを、再度確かめておく
 - 今回土産資料 説明

<会議録>

- (1) 開会 (13時30分)
- ★会長 挨拶
- (2) 図書館基本計画策定準備部会 議事
 - 前回土産資料 説明
 - 準備部会議題 前回指摘事項の追加調査・訪問ヒアリング追加報告
 - 準備部会議題⑦ 市民の声を、前回アンケート調査から再度確かめる
 - *質問、意見は以下のとおり

★会長

- ・令和2年に図書館が行った市民アンケートの要約と、令和元年の図書館協議会「意見書」の内容について資料説明があり、分館について議論しておく必要があるかと思う。「身近なところに分館がほしい」という市民の意見があった。これは身体的実感に基づく意見かと思う。
- ・事務局(計画同人)からは、「分館」というものを「サービス」と言い換えて考えてはどうかという提案があったが、これについてアイデアや感想はないか。

「多機能な中央図書館を」 審議会が市長に答申 舞鶴 / 京都

城 京都

日新聞 | 2022/8/9 | 地方版 | 有料記事 | 884文字



副会長 常世田 良

会長 中川 幾郎

審議、議論を重ねた答申内容を熱心に伝える中川幾郎会長(左)と常世田良副会長=京都府舞鶴市役所で、塩田敏夫撮影

舞鶴市民を馬鹿にした発言の数々

★会長

- ・市民に対しての公共的なサービスとか公共的な施策を残すという点では、今だけ、自分だけ、お金だけの話はやめて、未来に自分たちを超えた立場で全部考えていくのが責任だと思っている。そういう点では、舞鶴の図書館はどうなっているのか。東西両図書館のインフラを見た時これは持たないとはっきり思った。つぶすしかないのではないか。その現実を市民もはっきり認識すべきだ。これはあと10年持つかもたないかだと思う。

で、図書館建築をする過程で市民が行政に参加していくという、市民の自治力を高めていくということが重要だと思う。躯体の中に鉄筋があってコンクリが入って骨組みになる部分がある。そういうものを変更しなければならないぐらい大きな変更があるような要求が市民から出るようなことはまずない。市民から出てくるのはもっと小さなことで、ここに椅子があったらいいのではないかとか、ここに水があって飲めたらいいのではないかとかというようなことである。今の図書館は、なるべく壁をなくして、広いところでいろんな人が同時にいろんなことができるようにするという傾向にある。小さな部屋にしていくと、とても使いづらくなる。なるべく広くとって使いまわしができるような発想になっているので、皆さんがいくらアイデアを出しても設計を最初から書き直すなんて言うレベルはないので、まず大丈夫だと思う。

の図書館の基本計画を説明してご理解いただくしかない。図書館サービスを市全域に届けるというのが基本的コンセプトなので、今の公民館機能を活用して東と大浦に新たな分館を作り、5つの分館にして、そこで予約本を受け取っていただく。アンケートやパ

分館については、ワークショップをやる時に、なるべく市長も顔を出してもらいたいと思うが、そこで分館も何とかしてほしいと皆さんが言えば、市長も個々の分館をリニューアルしようなどと考えるかもしれない。それを同時にやった方がいい。それが助走期

についてはホームページに公表する。

変更点があるかということについては、基本的にはない。計画通りに進めていきたいと考えている。

- ・ 知人から教えてもらったことだが、YouTube で図書館を名指しで「舞鶴市は大きなハコモノをつくらうとしている。市民にぜんぜん意見を聞いていない」と発信している人がいる。こういったことに対抗するにも、発信が必要だろうと思う。

西と東は近すぎる。だいたい15分ぐらいの移動で人々は図書館に来るが、西と東の車で15分の距離で円を描くとだいたい重なる。そういう意味では素晴らしい図書館ができると両方の地域から集まってくる。でも、新しい図書館ができてから皆さんに来て

高齢者の方たちに関していえば、今の日本は急激に変わっていて、無人の車が走れるようになった。コミュニティバスは無人のバスが走り始めている。中央館ができる頃にはそんな時代が来るのではないか。そうすると高齢者の方はそういうものを使っていただけ。アメリカなどは高齢者を車で送るボランティアなどがある。そういうことも考えればいいのではないか。

杜撰すぎる計画

- 貸出点数が少ないのは購入冊数（予算）が少ないから
- 人口設定の見通しが意図的に誤魔化している
- 他市を無視した勝手な広域図書館計画
- 比較対象の地域事情を無視した計画

舞鶴市図書館基本計画

令和4年12月

舞鶴市

貸出点数が少ないのは購入冊数（予算）が少ないから

□ 各市図書館の状況

(H30)

自治体名	1人当 貸出点数	1人当 蔵書冊数	職員正 (司書) 非正規	人口	館数	貸出点数 個人	購入冊数	蔵書数
舞鶴市	4.0	3.1	5(4)21	83,972	5	337,092	2,406	261,822
福知山	7.8	3.6	7(1)33	79,095	4	623,143	12,111	295,155
綾部市	4.2	2.6	2(1)3	34,046	1	143,488	3,036	88,601
宮津市	7.9	9.1	3(2)7	18,324	1	145,026	9,147	166,819
京丹後市	5.0	5.2	2(2)18	55,944	6	281,406	5,926	292,104
与謝野町	5.6	5.6	1(1)5	22,256	3	125,715	2,454	123,953
伊根町	13.3	11.1	0(0)4	2,143	2	28,459	245	23,834
合計(平均)	(5.7)	(4.2)	20(11)91	295,780	22	1,684,329	35,325	1,252,288

図書資料等充実経費

事業内容	支出額	財源内訳				
		国支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
図書資料等充実経費	7,501,030	-	-	-	-	7,501,030
(備考) 新聞・雑誌・法令追録等			2,984,582円			
図書購入費			4,516,448円			

図書館基本計画策定経費

事業内容	支出額	財源内訳				
		国支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源
図書館基本計画策定経費	8,351,435	-	4,170,000	-	-	4,181,435
(備考) 図書館基本計画審議会委員報酬及び旅費			410,890円			
図書館フォーラム講師謝礼及び会場使用料			69,510円			
視察用バス運転代行業務委託料			24,035円			
図書館基本計画策定業務委託料			7,847,000円			

人口設定の見通しを意図的に誤魔化している

- ・当初目標値：貸出密度の全国平均値 5.5冊を、開館5年程度で超える。
- ・中期目標値：貸出密度の先進図書館達成値に、開館10年程度で到達する。

表1 <利用の到達目標>		近い将来 5年後	将来 10年後
①人口		78,000人	70,000人
②人口(市民)1人当たり貸出冊数		現状×1.8倍 6.5冊	現状×3.0倍 11冊
③個人貸出登録者数		登録率 50% 39,000人	登録率 72% 50,400人
④年間貸出冊数	総数	507,000冊	780,000冊
	登録者1人当たり	13冊	15.4冊
⑤必要な開架貸出図書冊数	開架	169,000冊	開架系 260,000冊
	BM資料(7年更新)	(3.0回転)	接架 27万冊 (3.0回転)
⑥必要な年間購入冊数		開架資料 25,000冊/年 BM資料(7年更新)	28,300冊/年 開架資料 BM資料(7年更新)
⑦貸出登録者の年間来館総数		608,000人/年	791,000人/年
⑧年間延来館者総数		668,800人/年	870,100人/年
⑨1日当たり全市の来館者数 (年間開館日数280日)	平日	1,791人/日	2,756人/日
	土・日	3,583人/日	5,512人/日
⑩中央図書館への来館者総数 (全市の図書館利用者の70%と想定)	平日	1,254人/日	1,632人/日
	土・日	2,508人/日	3,263人/日

※舞鶴市の図書館利用の現況

- ①人口は令和3年の78000人とし、将来はその90%70000人とした。
- ②は 3.70冊/市民1人・年間
小中学校児童生徒の登録利用、BMによる遠隔地利用者の開拓で2倍そして3倍にしていく。
- ③は 28,675人、登録率36.3%
- ④は 291,691冊、(令和2年度)

※計画表で

- ⑥は 開架の1/7で 24,300冊
小中学校支援、BM資料で +1,000~3,000冊/年
- ⑦は 次頁の論法試算による。
- ⑧は 通常⑦の1.3倍とするが、少なめに1.1倍とした。
- ⑨⑩は 次頁の文章試算の 1.1倍となっている。

※図書館では、開架図書の他に基本的な参考図書、地域・行政資料が必要となる。左開架冊数にこれらを加算して合計の開架冊数規模を試算する。

- ※世帯当たり人数：2.32人(R1) 2.30人(R2)
- ※(R1)の人数と冊数は市外を含むので貸出密度は概数
- ※(R2)延べ貸出者数は市外を含むので実質貸出冊数は不明。

完成は早くて2027年
2027年の舞鶴市の人口71,726人
2028年には70,680人

※ 2023年11月人口76624人
年間 約1,046人減少

	全館		東西館のみ		全館 貸出者当たり 市民1人当たり	
	総人口	延貸出者数	登録者数	登録率	貸出冊数	冊/人
2019年令和1年	79,886人	101,619人	30,033人(37.6%)		354,775冊	3.5冊/人
2020年令和2年	78,911人	79,947人	29,060人		293,015冊	冊/人
	(市内)	79,040人	28,675人(36.3%)		291,691冊	3.69冊/人
	(市外)	907人	385人		1,324冊	3.70冊/市民

2-3-③ 舞鶴市の図書館サービスの達成したい目標値

□中央図書館開館5年後、10年後にめざすサービス目標値

将来達成したい舞鶴市の図書館サービス目標値を、人口同規模の先進図書館の実績と比較して設定します。

開館5年当初目標値、10年中期目標値の達成をめざします。

開館5年後	開館10年後
<p>①市民1人あたりの年間貸出冊数(貸出率)</p> $\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}} = \frac{507,000 \text{ (冊)}}{78,000 \text{ (人)}} = 6.5 \text{ 冊/人・年}$ <p>現状 3.7冊/人・年</p>	$\frac{780,000 \text{ (冊)}}{70,000 \text{ (人)}} = 11 \text{ 冊/人・年}$
<p>②登録率</p> $\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} = \frac{39,000 \text{ (人)}}{78,000 \text{ (人)}} = 50 \%$ <p>※東図書館、西図書館の登録者 現状 35%</p>	$\frac{50,400 \text{ (人)}}{70,000 \text{ (人)}} = 72 \%$
<p>③登録者1人あたりの貸出冊数(実質貸出密度)</p> $\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}} = \frac{507,000 \text{ (冊)}}{39,000 \text{ (人)}} = 13 \text{ 冊/人・年}$ <p>現状 7.63冊/人・年</p>	$\frac{780,000 \text{ (冊)}}{50,400 \text{ (人)}} = 15.4 \text{ 冊/人・年}$
<p>④市民1人あたりの資料費</p> $\frac{\text{資料購入費}}{\text{人口}} = \frac{45,000,000 \text{ (円)}}{78,000 \text{ (人)}} = 577 \text{ 円/人・年}$ <p>現状 158円/人・年</p> <p>※平均単価：装幀込1700円/冊 10冊75円込で1800円/冊想定</p>	<p>福知山市立図書館 ……299円/人・年 京田辺市立図書館 ……322円/人・年 南相馬市立図書館 ……517円/人・年 塩尻市立図書館 ……626円/人・年</p> <p>『日本の図書館2020』より</p>
<p>⑤市民1人あたりの蔵書冊数</p> $\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}} = \frac{270,000 \text{ (冊)}}{78,000 \text{ (人)}} = 3.46 \text{ 冊}$ <p>現状 3.4冊</p> <p>開架17万冊+閉架10万冊</p>	$\frac{470,000 \text{ (冊)}}{70,000 \text{ (人)}} = 6.71 \text{ 冊}$ <p>開架27万冊+閉架20万冊</p>
<p>⑥蔵書回転率</p> $\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}} = \frac{507,000 \text{ (冊)}}{270,000 \text{ (冊)}} = 1.88 \text{ 回}$ <p>現状 1.1回</p>	$\frac{780,000 \text{ (冊)}}{470,000 \text{ (冊)}} = 1.66 \text{ 回}$
<p>⑦1日あたりの平均来館(登録者)数</p> $\frac{\text{貸出者数}}{\text{開館日数}} = \frac{608,000 \text{ (人)}}{280 \text{ (日)}} = 2,171 \text{ 人/日}$ <p>※現状の東西図書館の貸出者数は、285人/日。目標値はその7.6倍。</p> <p>登録者が月1.3回来館すると、39,000×1.3×12</p>	$\frac{791,000 \text{ (人)}}{280 \text{ (日)}} = 2,825 \text{ 人/日}$ <p>※目標値は現状の約10倍。</p>
<p>⑧1日あたりの平均貸出冊数</p> $\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}} = \frac{507,000 \text{ (冊)}}{280 \text{ (日)}} = 1,811 \text{ 冊/日}$ <p>※現状の東西図書館の貸出冊数は、933冊/日。目標値はその約2倍。</p>	$\frac{780,000 \text{ (冊)}}{280 \text{ (日)}} = 2,786 \text{ 冊/日}$ <p>※目標値は現状の約3倍。</p>
<p>⑨市民1人あたりの図書館運営費(資料費/光熱費/人件費等)</p> $\frac{\text{運営事業費}}{\text{人口}} = \frac{100,000,000 \text{ (円)}}{78,000 \text{ (人)}} = 1,282 \text{ 円/人}$ <p>現状 393円/人</p>	

※別角度からの考察：舞鶴市78,000人×6.5冊/人・年として年間総貸出冊数は50.7万冊となる。一日貸出は1,811冊/日。

1人1回2.5冊借りるとして、年間貸出人数は202,800人。年間280日開館として、貸出来館は724人/日。借りずに閲覧や催事に参加の人を、貸出来館の回数とみると一日平均来館者数は1,450人程度となる。

・10冊/人・年ならば、1人1回2.5冊借りるとして、貸出来館は1,114人/日。一日平均来館者数は2,228人程度となる。

人口設定が誤った結果、全ての事業計画が崩れました。

他市を無視した勝手な広域図書館計画

2-2-⑥ 京都府北部地域の広域図書館連携を推進する

□図書館における京都府北部広域連携の考え方

京都府北部5市2町（舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町並びに与謝野町）は、「京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会」を設置し、圏域内に中心となる都市を設けない対等型の連携により、圏域全体の経済成長や生活関連機能サービスの向上を図り、持続可能な経済・生活圏の形成を目指しています。

人口減少等の課題が顕在化する中、それぞれの市町が単独で課題解決を図るのではなく、5市2町を1つの30万人都市圏とし、各市町の強みを生かした「水平連携」による課題解決のための取り組みを進めています。

図書館においても、各市の図書館が専門性の高い資料を収集する場合、各市が連携し、補完しあうことで、一つの市では収集しきれないような、より高度な専門書を分担収集で整備することが可能となります。

また、各市の図書館を広域都市圏の住民は誰でも利用可能とすることにより、京都府立図書館等からの相互貸借での貸出よりもスピーディーに図書資料の提供が可能となります。

「選択と集中、分担と連携」により、北部5市2町の図書館が、あたかも一つの市の図書館としての機能を備えることを目指し、取り組みを進めます。

□図書館広域連携のこれまでの実績と課題

(1) 実績

- ・連携都市圏の住民は誰でも各図書館の図書貸出券を取得でき、図書等の貸出しを直接受け取ることが出来るサービスを開始しています。

(2) 課題

- ・各市町の図書館システムが統一されていないため、他市町の図書館で借りた図書等は、その市の図書館に直接返さなければなりません。(居住地の図書館で返すことができません)
- ・各市の図書館間での図書運搬システムが未構築です。(リクエストや返本など物流)

西駅はハブでは無い

交通結節点

(こうつうけっせつてん、英語: transport hub)

綾部市がJR綾部駅北側で整備を進めてきた複合施設「あやテラス」が25日にオープンする。図書館と地域交流センター（ホール）、子育て交流センター「あやっこひろば」の3施設で構成され、20日に報道関係者向けの内覧会があった。

図書館・地域交流・子育て交流の複合施設



吹き抜け構造の図書館。「本の森」に入るイメージで書籍を配置している

JR綾部駅北側にオープンする「あやテラス」の外観

(綾部市青野町)



あやテラスは鉄骨造2階建てで延べ床面積3287平方メートル。老朽化した図書館の整備検討を2016年度に始め、西日本豪雨や新型コロナウイルス禍などの影響で8年がかりで完成させた。総事業費は約18億4千万円で、資材高騰を受けて約7100万円膨らんだ。図書館は12万冊が収蔵可能で旧図書館の2倍を超す。現在の蔵書数は9万1

あやテラス 25日オープン

綾部市整備 「駅北側の都市機能集約」

千冊で徐々に増やす。吹き抜け構造で、「本の森」に入るイメージで内容に応じた書籍を配置した。絵本の読み聞かせ部屋や静読室も備える。

あやっこひろばは未就学児を想定し、子育て家庭が雨天でも楽しめるスペース。幼児向けのベビーエリアや知育遊具を置いたロールプレイエリア、体を動かすアクティブエリアがあり、保護者同伴で無料で利用できる。

ホールは長机で300人、円卓で200人を収容。大型スクリーンがあり、講演会やケータリングによる宴会に使える。1階フリーゾーンは綾部駅の電車待ちに利用できる。

山崎善也市長は20日の定例会見で「就任以来、駅北側の都市機能集約に取り組んできたので完成は感慨深い。胸を張ってPRできる施設で、綾部のランドマークになると期待している」と話した。

23日に竣工式、24日に市民向けの見学会が開かれる。(加藤秀生)

綾部市に新図書館オープン

参考にした図書館の地域事情を無視した計画

1.茨城県 守谷市 守谷中央図書館

• **1994年（平成6年）10月1日開館 総工費16億8,200万円**

2.滋賀県 守山市 守山市立図書館

• **2018年(平成30年)開館 総工費：26.6億円**

3.福岡県 福津市 福津市立図書館総合文化センター 平成元年開設 令和3年から改修工事 予算約1.8億円

4.長野県 塩尻市 複合施設エンパーク **2010（平成22）年7月会館(約27億)**

5.千葉県 君津市 君津市立中央図書館 (不明)

6.愛知県 みよし市 君津市立中央図書館 2002年10月に開館 (不明)

7.愛知県 田原市 田原市中央図書館 2002年8月2日開館 (19億7,753万円)

8.福島県 南相馬市 南相馬市立図書館 2008(平成20年)開館 (1.7億7700万円)

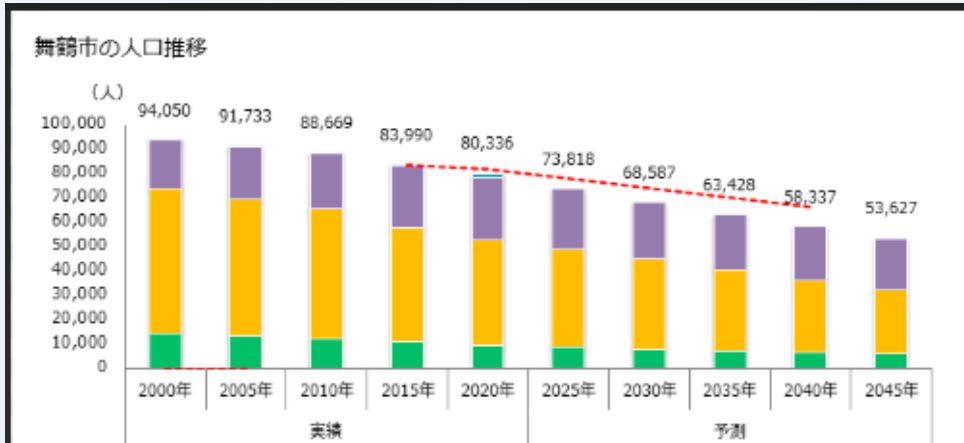
滋賀県 守山市 守山市立図書館 平成30年開館



総工費：26.6億円
人口84,980人(2023)



守山市は人口増加中/高齢化率も低い/ 面積は1/16

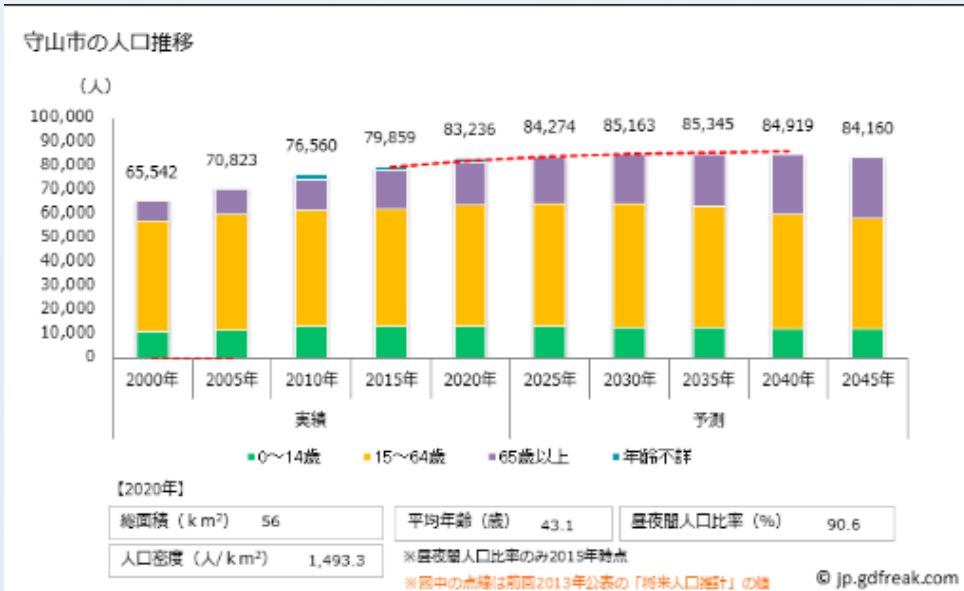


31.70%

舞鶴市の高齢化率は、2020年時点で31.70%である¹。また、生産年齢人口率（15～64歳）は55.85%である²。年少人口割合は23.3%、老年人口割合は11.8%である³。

詳細情報: [1. jmap.jp](http://1.jmap.jp) [2. seikatsu-guide.com](http://2.seikatsu-guide.com) [3. ecitizen.jp](http://3.ecitizen.jp)

舞鶴市面積
342.2 km²



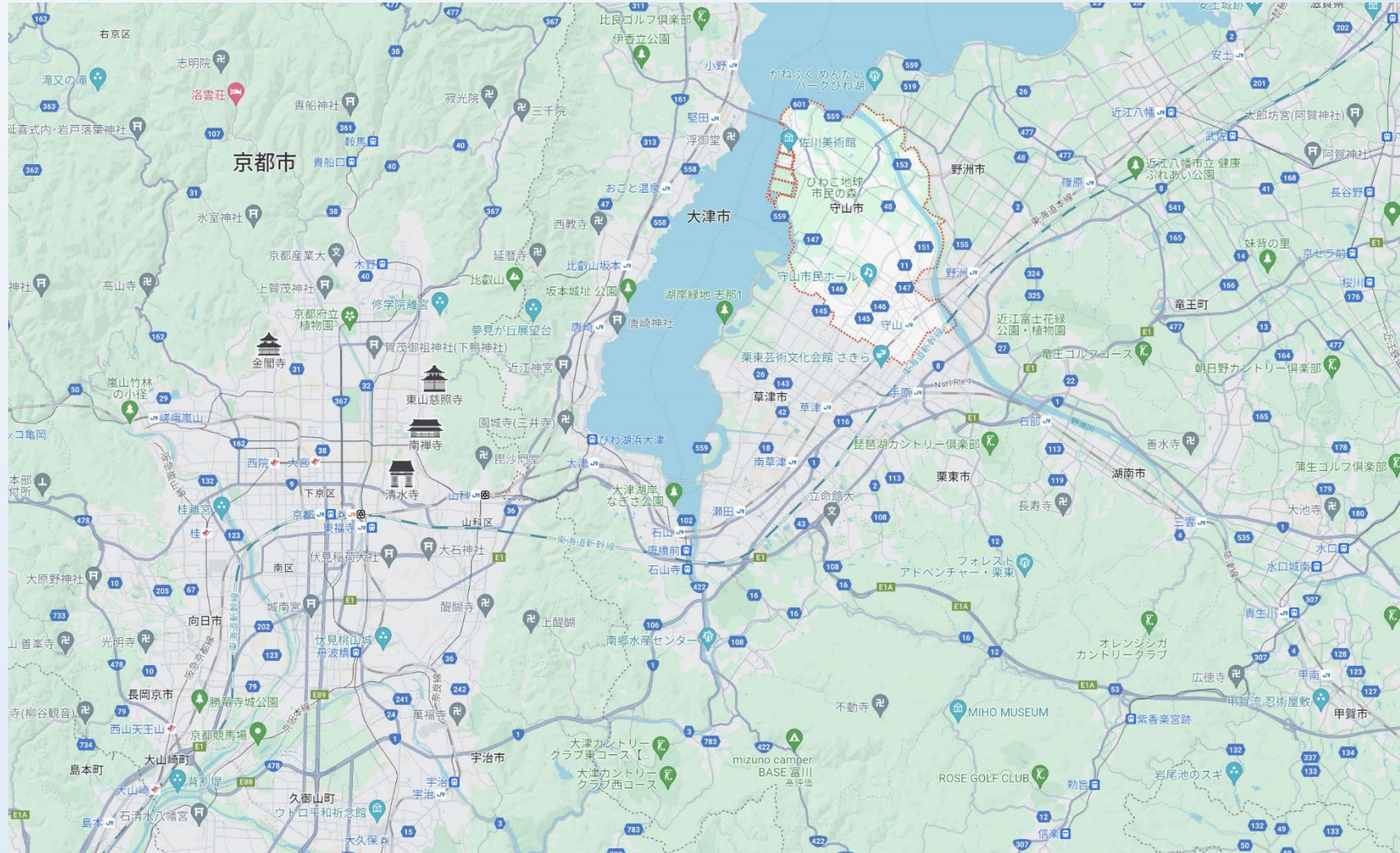
守山市の高齢者数および高齢化率(令和5年6月1日現在)

	人口	対前月比較(増減人数)	対前年比較(増減人数)
守山市の総人口	85,704人	+49人	+389人
高齢者(65歳以上)の人口	19,051人	+22人	+177人

高齢化率 22.23%

守山市/面積
55.74 km²

守山市は京都市の人気ベットタウン



勝算はあり



作戦

- ・署名活動（紙媒体）
- ・ネット広告（You Tube広告）
- ・ネット署名
- ・その他



